

# みなさんからの 陳情 請願

## 不採択 請願

### 教育民生常任委員会付託

#### ■私学教育を充実・発展させるための請願

##### ▼提出者▲

私学助成要求実現若手県実行委員会

会長

吉田六太郎

趣旨 過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実すること。

審査結果の要旨 趣旨としては理解できる部分もあるが、学校の特色を出すための特待生制度など一方では保護者負担の無償の制度もあり、ある程度の負担も必要である。また、過疎地域の私立高校が県内私立13校に該当するのが疑問である。

## 文書配布 陳情

#### ■住民の生活と地域経済を悪化させる公務員の賃金の「見直し」に反対を求める陳情

##### ▼提出者▲

若手県公務員・公共業務労働組合共闘会議

議長

佐藤一則

趣旨 地域間格差を拡大し若手県をはじめとする地方・地域の住民のくらしと地域経済の悪化につながる「給与構造の見直し（地域給導入）」を行わないこと。

意見書を出  
国に提出

# 議員提出議案

## 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書

平成17年の地方分権一括法の成立により、地方公共団体の自己決定権と自己責任はますます大きくなり、地方議会の権限も飛躍的に拡大してきている。

地方議会は、その最も重要な機能である立法的機能・財政的機能・行政監督機能を充実強化し、今まで以上に行政執行へのチェック機能を向上させ、分権時代に期待される議会の役割を果たしていかなければならない。

しかしながら、現行の地方議会制度は、議会の招集権が長にあること、「議会を招集する」とまが「ない」を理由に条例や予算が専決される例があることなど、二元代表制を採用しながらも、長と議会の機能バランスを欠き、議会本来の機能が発揮されていない。

さらに、議員定数の上限値の規定や1人1常任委員会の就任制限などの制約の規定は、議会の組

織運営を硬直化し、議会の自主性・自立性を弱め、議会の活性化を阻害している。よつて、国（または国会）においては、分権時代に対応した新たな地方議会制度を早急に構築されるよう、強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成17年6月24日

若手県滝沢村議会

衆議院議長 河野 洋平 殿  
参議院議長 扇 千景 殿  
内閣総理大臣 小泉 純一郎 殿  
総務大臣 麻生 太郎 殿

## 議会の国・県への要望活動

議会では村当局と合同で要望活動を実施しました。

### ■八幡平直轄砂防事業関連要望活動（5月31日～6月1日）

#### ▼要望先▲ 国土交通省・東北整備局

- 砂防事業予算の確保
- 砂防施設継続事業の推進
- 若手山対策としての砂防施設新規事業の推進
- 火山警戒体制の確立
- 災害時要援護者対策の推進

### ■国道4号線整備関連要望活動（7月11日～12日）

#### ▼要望先▲ 国土交通省・東北整備局

- 道路財源の確保
- 国道4号（盛岡市茨島線橋から滝沢村分岐交差点間）の拡幅整備の促進

### ■若手県知事への要望（7月20日）

#### ▼要望先▲ 若手県

- 若手県警察学校射撃場移転
- （仮称）菓子新駅設置に伴う県道昇格
- 主要地方道盛岡環状線（滝沢駅地区）への歩道設置
- 県道盛岡滝沢線（八人打地区）への歩道設置
- 国道282号一本木バイパスの早期完成
- 一級河川木賊川の河川整備の促進
- 若手県総合スポーツ施設及び多目的グラウンド（ドーム型）の誘致
- 若手県市町村総合補助金等のあり方

